

夏休みに豊かな心を育てる機会の充実を！

保護者のみなさんへ

京築教育事務所

最近、子どもの心を傷つける痛ましい事件や命に関わるような事故が発生しています。今こそ、私たちは子どもの豊かで温かみのある心を育てていかねばなりません。そのためには、この夏休みを、ぜひとも家族のふれあいや様々な体験を通し、命を尊重する心や思いやりの心、自律心、温かい親子関係を培う機会にしましょう。

家族で話す時間をつくりましょう。

- 食事中やくつろぎの時間等に、必ず会話する時間をつくりましょう。話を聞いてあげることは、子どもを「認める」第一歩です。



子どもと遊ぶ時間をつくりましょう。

- 週1回は、スポーツ、趣味等を生かして子どもとスキンシップを図りましょう。子どもの心のエネルギーが高まります。



お手伝いをする習慣を身につけさせましょう。

- 食事、洗濯、寝具の片づけ、弟妹の世話、家業の手伝い等の活動は、一体感や満足感を子どもに体感させます。

地域社会で家族ぐるみの活動をしましょう。

- 子ども会やボランティア活動等に参加しましょう。家庭の外で家族ぐるみの交流をすると、家の中では見られない姿を発見できます。人の役に立つ経験は、子どもに自己存在感や達成感を味わわせます。



社会のルールを守らせましょう。

- 万引き、飲酒、喫煙、大麻、覚せい剤等の薬物乱用は、いけません。
- 16歳未満の子どもは午後6時以降、保護者同伴でなければゲームセンター等へ立ち入ることができません。



パソコンや携帯電話等の適切な使い方を話し合いましょう。

なお、 unnecessaryな携帯電話等を持たせないようご注意ください。

- フィルタリングを用い有害サイトから子どもを守りましょう。
- ホームページ上などの掲示板への書き込みは書き込んだ個人が特定されます。
- ネット上に誹謗中傷等の書き込みをしたり、不用意に画像や動画を投稿したりしてはいけません。



家庭で規則正しい生活をさせましょう。

- 早寝、早起き、朝ご飯、読書や計画的な学習等に取り組むことで、基本的生活習慣が向上します。

安全確保のために次のことを守らせましょう。

- 外出先や帰宅時間を知らせること。
- 危険な場所(遊泳禁止区域等)では遊ばないこと。
- 花火等の取扱いに注意すること。
- 危険を感じたときは、大きな声を出して、近くの家に助けを求めること。
- 脱水症状、熱中症などに気をつけること。
- 集中豪雨、雷の発生など気象条件に気をつけること。



日頃から感染症対策を行いましょう。

- 喚起の確保、手洗い・うがいの励行、咳エチケット等

